

日 時：平成 28 年 6 月 2 日（木）18 時 30 分 ～20 時 00 分

場 所：久吉地区公民館

対象地区：久吉・湯ノ沢

参加人数：26 名

■意見交換

内 容
<p>○循環バスについて</p> <p>（市民からの要望、質問）</p> <p>循環バスの運行は久吉地区まで来るのか。来る場合、いつ頃から始まるのか。運行方法等はどういう風になっているのか教えていただきたい。</p> <p>（市の回答）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・碓ヶ関と平賀を結ぶ循環バスについては、今年の 1 月に碓ヶ関地区を対象としてアンケート調査を実施した。その結果を基に、8 月から 10 月の 3 か月間、午前 1 往復、午後 1 往復のバスを試験的に運行することとなった。</li><li>・運行ルートは、久吉公民館を出発し、船岡集会所、上町、碓ヶ関総合支所、ホームックニコット、道の駅いかりがせき、こがけ魚菜店、市役所本庁舎、文化センター、マックスバリュー平賀店が終点となり、帰りはその逆のルートとなる予定である。</li><li>・運賃は、片道、大人 200 円、子ども 100 円である。その後の運行については、3 か月の検証結果を踏まえて決める予定となっている。まずは、6 月議会に諮り、確定次第、詳しい時間等を每户配布でお知らせする予定である。</li></ul>
<p>○消防の屯所について</p> <p>（市民からの要望、質問）</p> <p>新しく建ててもらえる予算があるようだが、いつ頃になるのか。</p> <p>（市の回答）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・消防屯所の建設はこれから入札をはじめ、完成時期を今年度の 2 月末を目途として予定している。現在の場所に改築予定で、消防車の移動については、現在の駐車場に単管で仮設の車庫を作る予定である。</li></ul>
<p>○たけのこの里について</p> <p>（市民からの要望、質問）</p> <p>たけのこの里が廃止となる噂を聞いたが事実か。</p> <p>（市の回答）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・指定管理契約が今年度いっぱい契約が切れ、来年度以降どうするのかは、まだ何も決</li></ul>

定していない。指定管理者である碓ヶ関開発とまだ協議中である。

施設も古くなってきており、行く途中の道路も危険箇所があり2年前の指定管理更新時からの検討課題で、まだ何も結論が出ていない状況である。

(市民からの要望、質問)

まちづくりを考えた時に、人の動きが非常に大事であり観光事業というのは人の流れを促進させていくものだと思う。久吉地区にはたけのこの里しかないので、今の状況では厳しい面はあるかもしれないが、何の手も加えないまま、閉鎖させてしまうのは非常に残念である。冬場は仕方ないとしても、年々たけのこの里に行く人は増えているような感じを受ける。田舎館村の田んぼアートのように、手を加えながら、あれだけの人を集めていくというのは努力されているからであって、たけのこの里の程の規模の大きい物を発展させていくには、やはり努力なくして発展はないと思う。その辺を大事にしてほしい。

(市の回答)

・たしかにコテージの老朽化が進んでいるが、一番の問題は行く途中の道路が弱っていることである。全部市で直すと億単位のお金がかかると聞いている。

たけのこの里はいいところであると認識はしているが、やはり半年間雪の中にあるとなると厳しいものがあり、赤字経営が続いている。

市としてこれからどうしていくか考えていかなければならないが、問題はやはり維持管理をしていく経費である。排水をダムに出せず水路を温泉水が通っているためかなり詰まってきているなどのさまざまな問題があり、このまま継続していけば、相当な経費をかけて維持していかなければならないという状況である。

例えば、コテージを廃止して日帰りのものにするなども考えられるが、それらはこれから協議していかなければと思っている。

(市民からの要望、質問)

冬は使えないというのは大前提であり、半年間で訪れる人にもう少しお金を使ってもらえるような、また、地域の収入を挙げられるような工夫や対応をしてほしい。

(市の回答)

・全国的な地域おこしを見ていると、人が来ない所に一流レストランのシェフをスカウトする等の事例はあるが、それがたけのこの里に当てはまるかどうかなど、今後の方向性を決めていきたい。

○分収林について

(市民からの要望、質問)

旧碓ヶ関村と久吉地区と営林署との間で、部分林という制度を利用し、久吉地域の人が営林署から土地を借り、杉を植えて管理を行っていた。

植えた住所は東碓ヶ関山で、面積は 8.37ha であり、59 年前にやったようである。

平成 26 年に伐採し落札されたが、当時の人の話では旧碓ヶ関村と久吉地区へ 4 対 6 の割合でお金が入ると聞いており、契約書については探してみたが見つからない。

そのお金をもらえるのであれば、久吉町会の公民館を立て替えや町会に係る費用に充てたい。

(市の回答)

- ・当時の契約書を見てみると、昭和 30 年に国と旧碓ヶ関村とで部分林の契約をし、収益の割合は 2 対 8 で分けるという契約内容であり、平成 26 年度に伐採したものについて平川市に収入があった。村と久吉町会との契約については、契約を結んでいた場合、必ず両者に契約書はあるはずであるが、契約書が今のところは見つかっていない。旧職員にも伺ってみたが思い当たるところがないとのことである。
- ・国の土地に村が植林するという契約で、皆伐の際は営林署から連絡があり、平成 26 年に落札されたが、あくまでも営林局長と旧碓ヶ関村長の契約である。

(市民からの要望、質問)

村と久吉で 3 対 7 という人もいる。造林や管理もこれまで久吉地区の地元の人がやってきており、久吉地区には村が頼んだと先代から聞いている。国と村、村と久吉地区とで二重契約になるが、いくらかでももらえないか。

契約がないとのことだが、他の市町村や部落でも同じような制度があったのではないかと思うので、もう少し調べてほしい。

(市の回答)

- ・他の地域のも調べてみたいと思う。調べた結果は町会長へお知らせする。
- ・口約束だけではどうにもできないので、町会においてもまた契約書を探してもらいたい。市としてもさらに調べてみる。

○空き家対策について

(市民からの要望、質問)

最近、近所の空き家で 2 件、トタンが半分剥がれてバタバタしており、いつ剥がれるのか不安な状態で危険である。この前の強風の際は、1 件剥がれて飛んで支所で片付けたようだが、このようなことが別なところでも出てくると思うが、その時はどのようにしたら良いか教えてほしい。

(市の回答)

- ・何回も所有者にお願いをしており、夏ごろには何とかしたいと考えているようである。今後も粘り強くお願いするしかないが、緊急な時などは消防にお願いするなどして対応していく。

(市民からの要望、質問)

家の前の車庫がこの前の強風のときにバタバタしており、直そうと思いその土地を買おうと思ったが売ってくれない。そうしているうちに潰れてしまって、市役所をお願いしたがそのままである。

(市の回答)

- ・それについても所有者をお願いをしているがなかなか全部の撤去とはならず、今後も粘り強くお願いするしかない。
- ・昨年6月に空き家対策条例を作り、それに基づいて今年行おうとしているのが、各町会にどれくらい空き家があるのかの調査である。3、4年前の調査では、420戸程であったのが平成25年の住宅土地統計調査により1,480戸であることが判明した。実際にどれくらいの空き家があって、その内、使える空き家がどれくらいあるのか、また、使える空き家を活用できないかを検討するにあたって、事前調査、現況調査、意向調査を行っていく予定である。
- ・持ち主があることなので、市として勝手にできない。市がやるとなると、市民の税金でやるという問題もあり、全国的に空き家が多くなってきている中での問題である。しかし、市としてもそのまま放置することはできないので何か対応できないのかという事で、一歩踏み出して対策をやるようとしている。まずは今年、調査には6か月程かかるため、その間は市民の皆さんに待ってもらい、その後で新たな対策を考えていきたいと思っている。

○水道料金について

(市民からの要望、質問)

碓ヶ関地域の水道料金は、平賀・尾上地域と比べて極端に差があり高い。

市町村合併にあたって、事務事業の統合の中で水道料金の統合をする話があったと思うが一向に行われていない。企業団が違うのはわかっているが、統合するのはやり方の問題であると思う。今は久吉ダム水道企業団に料金徴収してもらっているが、それを市が行うことによって料金統一の調整がつくと思う。料金が低いことによって、ますます加入者が増えず、それによってますます料金が高くなるという繰り返しである。

(市の回答)

- ・下水道料金については、平賀、尾上、碓ヶ関で統合して同じ料金を徴収している。上水道の場合は、水道企業団が作った水売ってその企業団に収入が入るというシステムのため、統一料金はなかなか難しく現在に至っている。

(市民からの要望、質問)

税金と同様で市の平均的な料金を決めてやるなど、やり方の問題だと思う。毎戸に徴収するのではなく、市が一括して買って、それを平賀・尾上地域を合わせた全体の水道料金

の中でプールして同じ料金になるようを計算し直し、下水道と同じく毎戸に徴収すれば均等になるのではないか。

(市の回答)

- ・使用量に合わせてそれぞれの企業団の中で契約しているため、同じ市だからといって統一するといってもなかなか変えることはできないのが現状である。久吉ダム水道企業団は久吉地区と大鰐町で組んでいるため、その中で料金が異なれば久吉と大鰐との格差の問題が出てくる。また、平賀・尾上地域の津軽広域水道企業団と運営方法が違うことから、2つの企業団との兼ね合いも出てくる。
- ・企業団の生い立ちも異なるため、現実には難しいと思うが、統一した料金が可能かどうか調べてみる。

○スクールバスについて

(市民からの要望、質問)

少子化によりスクールバスが来なくなるということはあるのか。

(市の回答)

- ・子どもが少なくなれば大きいバスが良いのか小さい車がいいのかの検討は出てくるかもしれないが、通学の手段を閉ざすことは現在のところ考えていない。

○育苗ハウスについて

(市民からの要望、質問)

現在、久吉の育苗ハウスを久吉のハウス部会が3年契約の指定管理で使用しているが、以前に町会へ譲渡するような話がありながら、去年は再契約した。今後、町会に譲渡するとすれば、次の契約期限の時になるのか。

(市の回答)

- ・前は譲渡するかもしれないという話だったが、次の契約期限の時に変更して町会と相談して決めていきたいと思っているため、町会内で意向をまとめておいてほしい。

○今後の碓ヶ関地区について

(市民からの要望、質問)

若い人が住む町として、生業が成り立つやり方が必要だと思うが、今後、平川市として碓ヶ関地域は何を生業として進めていくのかを市と地域と一緒に話し合う会議や会合などをもちたい。そうでなければ、若い人に地域に残ってほしいと言っても示すものがないので説得力がない。平川市全体もだが、碓ヶ関地域は何で生業を支えていくのか、地域の特徴を活かしたものを打ち立ててほしい。

(市の回答)

- 市としては礎ヶ関地域を活性化していくために、地域の情報発信や農産物、観光などの産業振興、地域コミュニティの活動支援を目的としてもらいながら、ここの地域で活動してもらえる県外からの地域おこし協力隊を募集しようと考えている。ここの地域だけでなく外から見た考え方も導入し、少しでも人口減少を抑えながら、ここの地域をどういうふうにしていったら活性化していけるのかどうか、一つの起点として、新しいものを入れていこうと計画している。